

# 30年度 予算

# 一般会計予算額は 220億3,300万円

— 前年度比24億800万円(12.3%)増 —

平成30年度各会計別の予算総額(1万円未満四捨五入)			
一般会計	220億3,300万円		
特別会計	国民健康保険(事業勘定)	30億8,276万円	
	後期高齢者医療	2億6,882万円	
	国民健康保険(診療施設勘定)	2億4,000万円	
	公共下水道事業	9億5,613万円	
	農業集落排水事業	6億4,473万円	
	浄化槽事業	8,004万円	
企業会計	水道事業	収益的収入	6億1,260万円
		収益的支出	6億 459万円
		資本的収入	2億5,784万円
		資本的支出	4億5,744万円
	西根病院事業	収益的収入	8億6,810万円
		収益的支出	9億 286万円
		資本的収入	8億7,628万円
		資本的支出	10億3,772万円

平成30年度の予算は、3月8・12・13・15・16日の5日間、予算特別委員会を開き、審査しました。同委員会では一般会計と6特別会計、2企業会計を原案のとおり可決すべきものと決定。第1回定例会最終日の3月20日本会議で全て原案のとおり可決され、30年度の予算の使い道が決まりました。ここでは、予算特別委員会での質疑や30年度的主要事業などを紹介します。

## 予算特別委員会での主な質疑

- Q** 地方交付税(普通交付税)が前年度より約5億円減った理由を伺う。
- A** 27年度で合併算定替えが終わり、その後段階的に合併の恩恵が薄くなっていることと、市税が伸びていることや、人口が減っていることが理由である。
- Q** 選挙の投票所を減らしたことにより、投票率は下がり、選挙費用も増えたことをどう考えているか。
- A** 次の市議会選挙の結果を見て、検証していきたい。
- Q** 新たな出会い支援事業の内容を伺う。
- A** 新婚世帯を対象に、夫婦ともに34歳以下で、所得が340万円未満の夫婦に、引っ越しや家賃などの費用に最大30万円を補助するものである。
- Q** ごみの減量化は、地域ぐるみでの活動が大事ではないか。
- A** 公衆衛生組合の活動を母体としながら、行政連絡員にごみ減量化推進委員の役割も持ってもらい、さらに婦人会にも協力してもらいたい。
- Q** 牧野での受胎率の向上を図るために、どうするのか伺う。
- A** きめ細かな管理をするために、監視人や人工受精師の方々と協力していく。

## 大更駅前顔づくり施設建設の、概略設計委託料について伺う。


- Q** この施設について、市の商工会に調査を依頼しているが、その結果を踏まえて、青写真の概略設計をつめ、再来年以降には詳細設計に取り組んでいきたい。
- A** 交通網実態調査および、実証運行試験事業委託料5千万円について伺う。
- Q** 外国人観光客向けの音声案内装置を、バスやタクシー、または市内の拠点観光地などで、試験的に検証するものである。
- A** その他には、カードでの決済システムの検証も行っていきたい。
- Q** 市道整備計画で10年以内に27路線に工事着手とあるが、計画通り進んでいるのか。
- A** 現在の状況では、計画通りは難しい。国からの補助金なども勘案して、30年度で計画の見直しを行っていききたい。
- Q** 図書館の図書購入費が、前年度比で30%増額になっているが、その内容を伺う。
- A** 新年度は、これまで以上に専門書、児童書、絵本、紙芝居などを購入していく予定である。雑誌コーナーなどに、来館者が増えているので充実していきたい。
- Q** スポーツ大会出場選手報奨金150万円について伺う。
- A** 平昌オリンピックに出場した本市出身の3選手に、1人50万円ずつ報奨金を差し上げるものである。対象者については、市内に住所を有する方や、市内の企業に勤めている方を考えている。



観光振興対策事業  
【予算額】1億1,579万円  
【事業内容】株式会社八幡平DMOへ八幡平市版DMOの運営を委託する。自然散策バス多言語案内化の業務を行う。



大更駅前顔づくり施設等建設概略設計業務  
【予算額】324万円  
【事業内容】大更駅前顔づくり施設等の概略設計を行う。



繁殖・育成センター整備事業  
【予算額】33万円  
【事業内容】繁殖・育成センターを整備し、酪農・肉牛の生産基盤強化するための視察研修を行う。



総合保育所設計業務  
【予算額】5,199万円  
【事業内容】松野保育所と寄木保育所を統合し、移転新築するための設計・地質調査業務を行う。



結婚新生活支援事業費補助金  
【予算額】720万円  
【事業内容】新婚世帯に対し、新生活に係る引っ越しや家賃の費用(最大30万円まで)を支援する。



総合収納システム導入業務  
【予算額】193万円  
【事業内容】市税などの納入先の多様化(ゆうちょ銀行)および収納事業の合理化を図る。



# 3月定例会

●会期 2月19日～3月20日(30日間)

## いじめ防止対策推進法に基づき、いじめ対策強化

今回は	
市長提出議案	42件
報告	3件
請願	1件
議員提出議案	3件



3月定例会議案採決

【議案第10号】 八幡平市いじめ問題対策委員会条例

### いじめ重大事態に対応する条例制定

いじめ防止対策推進法に基づき、八幡平市いじめ問題対策委員会の組織や運営について、必要な事項を定めるものです。具体的には、いじめ防止対策推進法に規定されている次の重大事態の調査が必要と認めるとき、委員会を設置します。

- ▼いじめにより、当該学校に在籍する児童などの生命、心身、または財産に、重大な被害が生じた疑いがあると認めるとき。
- ▼いじめにより、当該学校に在籍する児童などが、相当の期間、学校を欠席することを余儀なくされている疑いがあると認めるとき。

【付託された委員会の審査結果】

教育民生常任委員会での審査では、いじめ事前防止や、いじめ相談体制の整備が必要であり、いじ



中渡工場整備予定地

中渡工場適地整備事業

【予算額】 4,675万円

【事業内容】 用地取得および整備を行う。(平成30年度・平成31年度：2カ年事業)



県立平館高校

平館高校教育振興会補助金

【予算額】 427万円

【事業内容】 進路指導事業(夏季休業中に国立大学進学希望者に対し、予備校講師による特別課外授業を実施)



平昌オリンピック応援団

スポーツ大会出場選手報奨金

【予算額】 150万円

【事業内容】 オリンピック・パラリンピック競技大会に選手として出場した個人に対し、報奨金を交付する。

【反対討論】 高橋悦郎議員(日本共産党)  
220億円を超える、合併後最大規模である。歳入では、基金繰入が約24億円、市債いわゆる借金が約37億円となり、これらも合併後最大規模である。市立病院新築工事・ごみ焼却施設の改修・温泉郷の給湯管の更新・そして大更駅周辺開発など超大型の公共事業が同時進行の予算である。市民にとって必要な事業は進めなければならないが、見直しが必要なのは、最大の課題の人口減少への対策を遅らせる投資は、最大の課題の人口減少への対策を遅らせる

ている。人口減少は、市が策定した人口の将来推移目標とかけ離れて推移しており、その対策が強く求められている。若者の定住化対策や、さらなる子育て世代への支援がまったなしの課題である。また、市民の要望が強い、市道の整備や、軽舗装への予算も要望に添えるものになっていない。これらへの予算配分を求める。教育費では、ご飯持参の学校給食の問題である。学校給食法の趣旨に沿わない、この補正給食を改め、負担増なしの完全給食を強く求めることも、学校給食の無料化を目指すべきである。

【賛成討論】 崑山康議員(八起会)  
一般会計予算総額、220億3300万円は、前年度対比24億800万円の増、率で12・3%の大幅な伸びになっている。八幡平市誕生以来、最大の予算規模は、第2次総合計画、前期計画の中間年である平成30年に、並々ならぬ積極的な姿勢で、将来に

課題を先送りせず、八幡平市の活性化を図り、市の将来像である「農と輝の大地」の実現に向けた、意欲的な予算編成を高く評価する。多様な住民福祉施策が盛り込まれており、市民の付託に応えるものとして高く評価し、賛成討論とする。

【賛成討論】 小野寺昭一議員(八起会)  
平成30年度、節目の年に八幡平市の一般会計予算は、総額220億3300万円となっている。主要事業を見ると、安代リンドウ海外活用事業、ニュージラードとチリに続いて、アフリカのルワンダに5月の初出荷式に出席予定で、30年度リンドウは13億円を目指している。次に、温泉引湯管整備事業に6億円、松尾庁舎解体工事に3億円、ごみ焼却施設の延命化事業に12億円、大更駅前整備、西根病院建設事業、ゆうちょ銀行の指定代理金融機関の指定な

ど、積極的な予算となっており評価する。滝沢市と比較すると28億円多く、市長および職員がそれだけ仕事をしているということになり、敬意を表す所である。東京都の平成29年度の予算では、全会派が承認しており、当市において、一部納得できない理由で反対するのはいかなるものかと思う。最後に、市の均衡ある発展と、市民の一体感の醸成に努め、市民の負託に応えるよう計画的な予算の執行を期待し、議員各位の賛同をお願いし賛成討論とする。

め防止などに関する機関・団体との連携を図るため、早期に「いじめ防止対策推進法第14条に基づくいじめ問題対策連絡協議会を設置すべきと考える」と意見集約され、最終日の本会議で委員長が審査結果を報告しました。

【議案第21号】 八幡平市長寿祝金条例の一部を改正する条例

### 100歳長寿祝金支給の要件を緩和

市内の特別養護老人ホームなどに空きがなく、やむを得ず市外の特別養護老人ホームなどに入所した人に対しても長寿祝金を支給するため、満100歳に達する日までに継続して10年以上、八幡平市へ住民登録していることを新たな支給要件とし、現行の居住要件を撤廃し、改めるものです。